

② 第2回福智町地域公共交通会議

日時	令和5年8月25日(金) 10:00~10:40
場所	福智町役場 3階 301会議室
参加者	<p><出席者> 委員:18名 (会長)福智町 副町長:竹下 靖/(副会長)福智町商工会 会長:池田 昇/西鉄バス筑豊株式会社 田川支社 支社長:青木 明生/田川構内自動車株式会社 総務部長:長井 智章/有限会社プラス観光 代表取締役:石山 吏生/平成筑豊鉄道株式会社 運輸事業部長:石松 祥宏/福智町行政区長会 会長:松山 榮治/福智町老人会 会長:松尾 重義/九州運輸局福岡運輸支局 支局長:傳 勝博(代理:辻 美喜善)/福岡県筑豊地区タクシー協会 会長:嘉久 礼子/福岡県田川県土整備事務所用地課 管理係長:磯田 靖彦(代理:瓜生 滉志朗)/福岡県田川警察署交通課 交通総務係長:田中 一実/福智町社会福祉協議会 事務局長:中野 雅浩/福智町 総務課長:長野 士郎/福智町 高齢者障がい福祉課長:八代 賢一/福智町 健康子育て支援課長:小松 卓美/福智町立図書館ふくちのち 館長:井上 憲治/福岡県企画・地域振興部交通政策課 交通総務係長:田辺 好徳(代理:石川 理生) 事務局:4名 まちづくり総合政策課 課長:木村 貴代美/同課長補佐:犬丸且久/同係長:並川 昌太郎/同主査:日永田 憲章 計画策定支援事業者(千代田C):2名 川崎 謙次、成田 光裕</p> <p><欠席者> 委員:5名 福智町 PTA 連合会 会長:福嶋 申行/一般社団法人福岡バス協会 専務理事:中川原 達也/西鉄グループバス労働組合 書記長:熊本 正志/福岡県立大学 助教授:美谷 薫/上野焼協同組合 理事長:高霧 享一 (敬称略)</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1)実証運行利用状況の報告 (2)自家用有償旅客運送登録申請 (3)本格運行準備状況 3. その他
配布資料	資料-1 「ふく〜るバス」実証運行報告 資料-2 自家用有償旅客運送の登録申請について 資料-3 本格運行準備状況
会議の様子	

<1. 開会>

【事務局説明】

会長(竹下):委員の皆様には福智町の現状を理解のうえ審議頂けるよう、よろしくお願い申し上げます。

<2. 議題>

(1)実証運行利用状況の報告

【事務局説明】

(概要)

福智町地域公共交通計画(令和3年6月策定)に基づき、AI オンデマンド導入に向けた段階的な事業ステップの第一段階として、現在の福祉バス運行エリア内でAIによる予約型運行サービス(ふく〜るバス)の無償による実証運行を実施している。

令和5年7月20日(木)から現行の福祉バスを全便廃止し、ふく〜るバスを5台体制で運行している。月別利用者数は7月で3,000人を超え、日別利用者数は7月27日(木)に168人に達している。

乗合率は全運行回数のうち約3割を越えており、増加傾向。

運輸支局(辻氏):①予約方法(電話・スマホ)の割合はどれくらいか。

②7月20日以降の住民や利用者の反応を知りたい。

③全面的導入により利便性は上がったと思うが、タクシー等の利用状況はどうなっているのか。

事務局:①電話予約が8割、スマホ予約が2割。

②7月20日以降、住民・利用者の方々への聞き取りは行ってはいないが、電話等での意見・苦情等は今のところ入っていない。協議会による予約困難な方への支援もあり、予約に関する苦情等もない。以前行ったアンケートでは、好評との意見が多かった。

③7月20日以降のタクシー利用者の増減は把握していない。

社会福祉協議会(中野氏):全面移行後、これまで定時定路線で利用していた方が対応できるか心配ではあったが、その方々へは個別の対応で利用方法の支援を行った。

田川構内自動車(嘉久氏):福智町から尽力頂いてはいるが、タクシーの利用件数は確実に減っている。

運輸支局(辻氏):持続可能な全体の交通を考えて頂きたい。

事務局:ふく〜るバスだけでは町の交通は成り立たないので、タクシー、平成筑豊鉄道と協力しながら住民の方々の交通を守っていきたい。

(2) 自家用有償旅客運送の登録申請について

【事務局説明】

(概要)

自家用有償旅客運送の登録申請について、運行開始日・利用運賃を追記。

運行開始日：令和5年10月1日（日）

利用運賃：定額制1回 200円

（未就学児：無料、小中学生（町内外問わず）：100円、町内の障がい者及び65歳以上の方：100円）

運賃は「自家用有償旅客運送ハンドブック（令和2年11月改定）記載内容」、「過年度アンケートによる利用者意向」、「利用者推計に基づく収支率の比較」などから総合的に勘案し設定。

●承認

(3) 今後の予定

【事務局説明】

(概要)

本格運行に向けた準備事項について下記の項目を説明。

1. 広報・周知活動
2. 西鉄バス金田方城線利用者への対応
3. 乗降場所確認
4. AIシステム調整・更新
5. 車両設備の更新
6. 従事運転者
7. 電話予約が困難な方への対応
8. 安全管理対策

プラス観光(石山氏): 運行管理者は1名で大丈夫なのか。バスの場合は2名必要である。

社会福祉協議会(中野氏): 福智町から1名、社会福祉協議会から1名となっている。

運輸支局(辻氏): 運行管理者が2名必要となるのは貸し切りバスの場合なので大丈夫かと思われる。

- ①運転者の年齢層はどのくらいか。
- ②運転前のアルコールチェックは徹底して頂きたい。
- ③広報・周知に関して、高齢者向けの説明等を検討して頂きたい。

社会福祉協議会(中野氏): ①50代が2名、60代(65歳以下)が5名となっている。

②アルコールチェックは現在も行っており、一人ずつ機械を持っている。

事務局: ②運行管理者においてもアルコールチェックも含め、体調管理等も行うことを考えている。

③周知方法についても、広報誌や社内掲示以外に高齢者向けの教室等での説明や福祉課と連携して色々な場所で説明できればと考えている。

<4. 閉会>